

平成27年度 第46回 全九州高等学校バスケットボール春期選手権大会

男子準決勝

主審 岩尾 圭治

副審 坂元 孝浩

福岡第一 80

(福岡2位)

○

18	—	21
22	—	11
18	—	23
22	—	18
—		

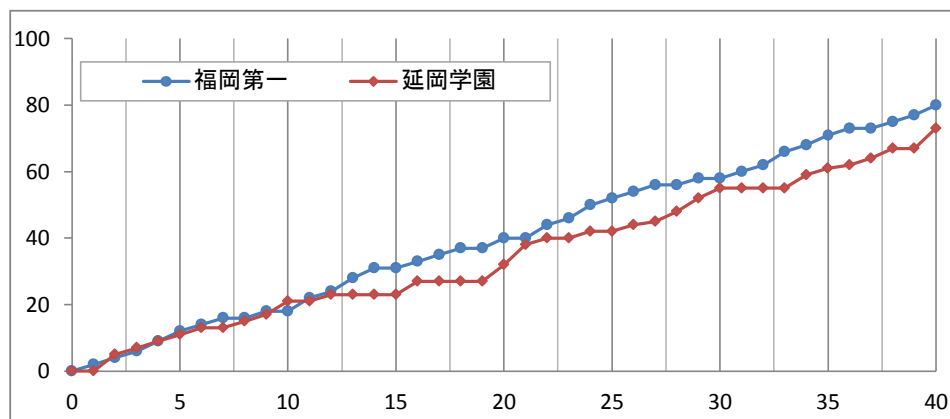
73 延岡学園

● (宮崎1位)

No. 14C2

日時: 2016年2月14日(日) 10:30

会場: 薩摩川内市運動公園体育館C2



福岡第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 重富 周希 (C)	6	0	3	0	0
5	* 重富 友希	16	0	5	6	2
6	* 松本 礼太	15	1	6	0	1
7	バムアンゲイジョナサン	4	0	2	0	2
8	* 土居 光	14	1	5	1	0
9	三角 敬祐	-	-	-	-	-
10	平子 啓太	-	-	-	-	-
11	小野 絢喜	8	0	4	0	1
12	* 蔡 錦鈺	17	0	6	5	3
13	吉居 大誓	-	-	-	-	-
14	井手 拓実	0	0	0	0	1
15	比嘉 聖人	-	-	-	-	-
16	長野 雄大	-	-	-	-	-
17	大角地 漱水	-	-	-	-	-
18	原 拓海	-	-	-	-	-
コーチ 井手口 孝						
合計		80	2	31	12	10

延岡学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 水谷 慎之介	6	0	3	0	3
5	* SYLLA MAMADOU	12	0	6	0	4
6	平尾 剣弥	-	-	-	-	-
7	* 池浦 健太郎	26	0	12	2	0
8	近藤 央	-	-	-	-	-
9	森 紅也	-	-	-	-	-
10	吉田 韻希	-	-	-	-	-
11	馬場口 直人	-	-	-	-	-
12	軸屋 怜音	-	-	-	-	-
13	山本 将史	-	-	-	-	-
14	* 榎田 拓真 (C)	12	2	3	0	3
15	田上 航己	-	-	-	-	-
16	八崎 健之介	-	-	-	-	-
17	* 渡辺 新	17	3	1	6	4
18	甲斐 聖人	-	-	-	-	-
コーチ 川添 裕司						
合計		73	5	25	8	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1Q、両チームマンツーマンでスタート。福岡第一#8土屋のリバウンドシュート、#4重富(周)のジャンプシュートで先制すると、すかさず延岡学園も#17渡辺のフリースロー3本や#5ママドゥーのリング下などで入れ返す。第一は早い展開から、#5重富(友)や#4重富(周)が得点を重ね、延岡も#5ママドゥーがリング下を中心に攻め込み、18-21の延岡リードで第1Qを終える。

第2Qはまず第一が流れをつかむ。#8土屋のドライブや、#11小野のブレイクで一気に逆転する。延岡の#7池浦のドライブなどで反撃するが、アウトサイドシュートが決まらず、我慢の展開となる。逆に第一は#12蔡などがインサイドで確実に点数を重ねる。終了間際、延岡#17渡辺の3Pがようやく決まるが、すかさず第一も#6松本が3Pを入れ替えし、40-32第一リードで前半を終える。

第3Qはゲームの流れが相互に入れ替わる展開となる。まずは延岡#14榎田のリバウンドシュート、#7池浦の連続得点で波に乗り、2点差まで詰めるも、第一#12蔡のリング下や、#11小野のブレイクなどで10点差と再び引き離す。ここで、延岡後半1回目のタイムアウトを請求。その後再び延岡が#5ママドゥーのリング下や#17渡辺の3Pなどで差を詰め、58-55の第一3点リードで第3Qを終える。

第4Q開始早々第一が流れを掴む。#12蔡のハイポストからのジャンプシュートや、#7バムのバスケットカウントなどで、12点差に広げた。さらに延岡#5ママドゥーが4つ目のファウルとなり、延岡2つ目のタイムアウト。タイムアウト明け、延岡#7池浦のリバウンドシュートや#17渡辺の3Pで6点差まで詰める。さらにディフェンスを1-3-1と2-3に変化させて逆転を狙うが、延岡も#6松本のドライブなどで確実に得点する。延岡#14榎田の連続3Pなど最後まで果敢にゴールを狙うが、第一が80-73で逃げ切り見事、決勝進出を決めた。

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
-----	------	----	----	----	----	---

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
-----	------	----	----	----	----	---

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
-----	------	----	----	----	----	---